



目黒 大和

さくら株式会社の配管工として働く目黒大和は、確かな腕を持つ職人として社内でも評価が高い。入社したのは、およそ5年前。さくらとの付き合いで言えば、さらに古くまで遡る。経験豊富な目黒の歩みを紐解きながら、忘れられないエピソードや、仕事において意識している点などを聞いた。

先輩の誘いで、さくらの一員に

ももとは同業他社に勤務していた目黒。さくらの専務である千葉とは、地元の先輩・後輩という旧知の仲だ。過去にもさくらの現場で応援人員として参加していた時期がある。1年ほどの期間だったが、社員たちは良い人たちばかりで、仕事はいつも滞りなく進んだ。

「雰囲気の良い会社だな」。

それが当時から抱いていたさくらに対する目黒の印象だ。そんなある日、協力会社として現場をともにしたのをきっかけに、千葉から「うちで働かないか」と声をかけられたのである。目黒はまったく迷うことなく、その誘いを快諾したのだった。

心強い仲間存在

入社後に感じたのは、思っていた通り「働きやすい職場」だったこと。その印象は今も変わらない。社員の皆との関係は、入社当初からずっと良好だ。前職の頃、さくらの現場で人出が足りなくなると応援に出向いていたように、今は目黒が仕事に追い込まれてピンチになると、駆け付けてくれる仲間がいる。普段から頻繁に連絡を取り合い、必要に応じて仕事を手伝ってくれる強力な助っ

人がいることに安心感を抱いている。「仕事を通じて、これまで多くの人と関わってきました。困ったときに手を差し伸べてくれる存在がいるからこそ、配管工として長い間働き続けられたのだと思います」。

壁が高ければ高いほど、感じるやりがい

さくらで請け負う配管工事は、その内容も期間もまちまちだ。他社の手伝いのようなものであれば、現場に入るのは1か月程度。一方、自社の工場で配管の製作から携わる場合は、作業にかかる期間は8か月におよぶこともある。

現場にはそれぞれ現場監督が配置されており、監督の指示に従って作業を進めていく。円滑な作業のために徹底した確認を心がけてはいるが、認識のずれによ

り、ときには手間取ることもある。長期間にわたった現場、あるいは難しい作業があったときほど、すべてを終えたときの「やりきった!」という達成感はひとしおなのだ。

大怪我の原因は気の緩み

気を引き締めて作業に臨む一方で、ちょっとした不注意で怪我

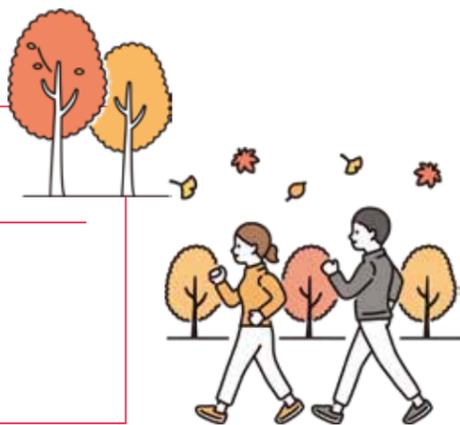


をしてしまった経験がある。それは、2021年のこと。作業中ではなく、普通に歩いていたときに高所から落下してしまったのだ。その時点では骨にヒビが入っただけだった。ところがその2日後、病院を訪れようとしていた日に、再び階段から落ちてしまったのである。結局、手術が必要なほどの大怪我になってしまい、入院期間はリハビリも含めて3か月にもおよんだ。ベッドで本を読んだり、YouTubeを見たりと思わぬ休養にはなったものの、長期間仕事を休むことになってしまい、大いに反省したという。

「これまで、事故や怪我には十分に気をつけて仕事に取り組んできたつもりでした。怪我をしたことでその意識はより一層高まり、たとえ納期が迫っていても、『決して焦らず、急がない』を自身に言い聞かせて仕事に臨んでいます」。

企業情報

設立年：2012年4月
 年商：11.6億円
 ※2022年3月決算時点



(後編に続く)



常務
寺澤 寿洋さん

に迫る！ さくららの強み

さくらがあらゆる配管工事に対応できるのは何故なのか。当社の強みについて、常務の寺澤さんに語ってもらいました！個性豊かで経験豊富な従業員と、積み重ねてきた実績がキーポイントです！

さくらが配管工事に強い理由

配管工事からスタートした豊富な経験

元々プラント配管工事や病院など公共施設の配管工事からスタートした会社だからです。その後、機器据付や保温工事なども取り入れていきました。そのため、配管に関する工事を一式まとめて自社内で行えるようになり、それが当社ならではの強みになりました。また、経験年数7~10年以上のベテランが従業員の半数を占めているので、技術面はもちろん効率良くスピーディーな作業にも自信があります。従業員は個性が強い方ばかりですが、お互いの個性を尊重しているので皆さん仲が良く、連帯感を持って仕事をしています。

幅広い配管工事に対応するため意識していること

正確さと丁寧さです。それは例えば、いただいた図面通りの寸法や形で作ることです。しかし図面にミスがある場合もありますから、そうしたときは各々が経験を活かして正しい寸法や形を先読みする必要があります。



さくらが最も得意とする配管工事

リピーターや紹介が多数を占める化学プラント

ビル設備、プラント、ステンレス溶接、食品工場サニタリー、工場プレハブなど幅広い配管工事を手掛けているので、全てが得意と言えます。体感として一番依頼が多いのは、化学プラントの配管工事です。リピーターや、一度現場をこなしたお客様からの紹介でご依頼いただくパターンが結構多いからだと思います。お客様とのコミュニケーションでは、礼儀正しく接するのはもちろんですが、堅苦しくならないよう心掛けています。



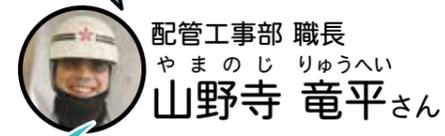
お客様へメッセージ

色々なジャンルの配管工事や機器据付のような周辺業務まで、一貫して自社内で行えます。お見積りは無料なので、ぜひお気軽にご相談ください！

先輩社員の！ここがスゴイ！

追いつきたいその背中。私が「スゴイ」と思い目指す先輩はこの方です！

私が紹介します！



配管工事部 職長
山野寺 竜平さん

✔ 尊敬しているところ

知識量です。配管に関しての知識はこれまで私が出会った方々の中でダントツです。私が質問したことにはすべて応えてくださり、さらにその意味や役割まで教えてくださいます。ときには元請けが知らないことまでご存知で、一体どこで覚えたのだろうと不思議に思うほどです。そのような千葉専務は、仕事には厳しいですがプライベートでは大変優しく、周りの皆のことを思いやってくくださる方。現場でもリーダー的な存在で、どのような現場にも柔軟に対応されています。

✔ 見習いたいところ

やはりその知識量です！千葉専務とともに仕事を重ね、私も多くを学びたいと思っています。現在同じ現場を担当していますので、千葉専務とたくさん話しをして知識を吸収してまいりたいと思います。

千葉専務へメッセージ

最近と同じ現場になることが少なくなって来ましたが、また一緒にさせていただけた際にはよろしくお願いします。



スゴイ！
千葉 真也専務

✔ すごいところ

飛び抜けてすごい方なので、何をピックアップして紹介すれば良いかわからないほどです(笑)従業員との接し方や人材の使い方など、普段から見てもそのすごさを痛感しています。その中でも、特に人脈の広さには驚きを隠せません。どこからでも職人さんを集めることができるので、一体どこでそのような繋がりを作ってきたのか不思議に思うこともあります。私より3つ年上なだけなのですが、まだ若いのに数多くのコネクションを作れているところがすごいと思うポイントのひとつです。また、人柄においても、いつも周りを楽しませてくれる方です。会社としての良い雰囲気を保っているのも、社長の人柄によるところが大きいのではないのでしょうか。そういった長所を生かして人脈を築いてきたのかもかもしれません。頭がキレ過ぎてたまに怖いと思うこともありますが……(笑)

✔ 見習いたいところ

人と話す際の会話術です。私自身、会話がそれほど得意ではないので、言いたいことを秘めてしまうことがあり、周囲から「もっと主張した方がいい」「嫌なことは嫌だと言った方がいい」とアドバイスをもらうこともしばしば。その点、社長は言いたいことや思ったことを全部言うようにしているそうです。その結果が間違っていたら都度修正して、次に生かせば良いというお話をされていました。まさに私が不得手としている分野なので、引き続き社長の発言や会話の仕方を観察して、学んでいきたいと考えています。

私が紹介します！



いわい しょういち
岩井 翔一さん



スゴイ！
高橋 和義社長

高橋社長へメッセージ

このような従業員ですが、これからもよろしくお願いたします！